

|| 2020年10月期 連結業績

|| 2021年10月期 連結業績予想

|| 今後の展開 Creative 60

Creative 60

■ 中期経営計画 「Creative 60」重点施策

1. 「国内営業基盤の拡充」ー グループの総力を結集
 - ・既存エリアの深堀り
 - ・未進出エリア、低シェア領域の開拓
 - ・非建設分野への進出
2. 「海外展開」ー 海外戦略2.0 (Next Generation) へのバージョンアップ
 - ・グローバルポートフォリオの最適化
 - ・カナモト版グローバルプラットフォームの確立
 - ・ノンオーガニック戦略～海外でのM&Aの取り組み
 - ・海外売上比率10%への布石
3. 「内部オペレーションの最適化」ー レンタルビジネスの収益性向上
 - ・営業戦略(マーケティング、営業)とITの融合
 - ・商品企画、研究開発への資源投資 工事現場に必要な技術やシステム開発
～カナロボ ナクシデント AXキューイーン ICT建機～
 - ・業務効率向上
 - ・グループ流通を促進する環境整備～原価コントロール、長期的な安定稼働～
 - ・人財の確保と育成への注力

中期経営計画(2020~2024年度)

中期経営計画「Creative 60」

〈重点施策〉

01

国内営業基盤の拡充



02

海外展開



03

内部オペレーションの最適化



Ⅱ 国内営業基盤の拡充

Ⅱ 海外展開

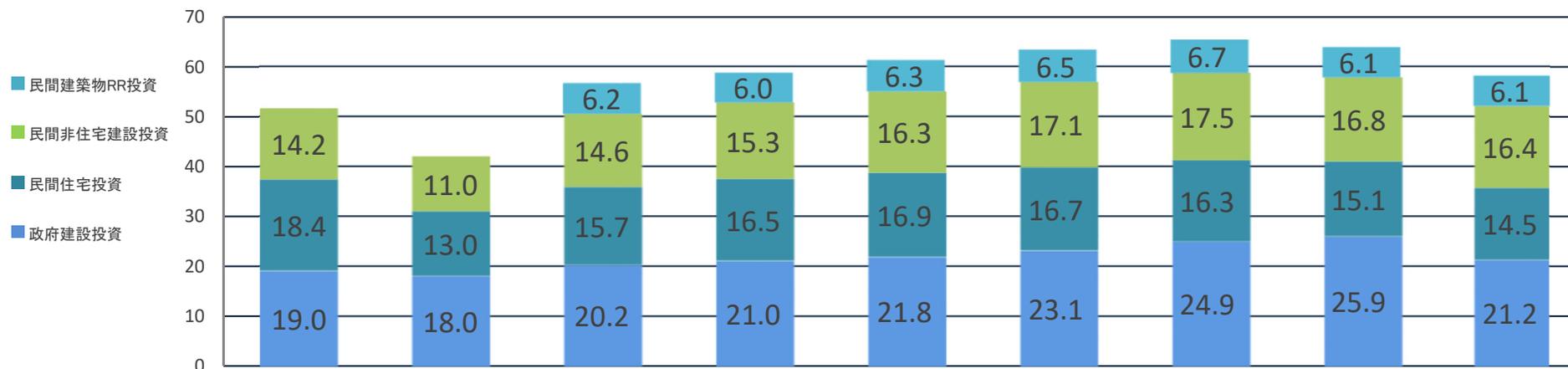
Ⅱ 内部オペレーションの最適化

国内建設投資

2010年度の42兆円を底に増加に転じ、回復基調で推移

(単位:兆円)

2021年度は、民間建設投資が減少するとともに、政府建設投資も減少に転じる見通し



年度	2005	2010	2015	2016	2017	2018 (見込み)	2019 (見込み)	2020 (見通し)	2021 (見通し)
建設投資 (対前年度伸び率)	51.6 (-2.4%)	41.9 (-2.4%)	56.6 (19.3%)	58.7 (3.7%)	61.3 (4.4%)	63.4 (3.4%)	65.4 (3.1%)	63.9 (-2.3%)	58.2 (-8.9%)
政府建設投資	19.0 (-8.9%)	18.0 (0.3%)	20.2 (8.6%)	21.0 (3.9%)	21.8 (3.8%)	23.1 (5.9%)	24.9 (7.8%)	25.9 (4.1%)	21.2 (-18.1%)
民間住宅投資	18.4 (0.3%)	13.0 (1.1%)	15.7 (5.5%)	16.5 (4.9%)	16.9 (2.9%)	16.7 (-1.3%)	16.3 (-2.3%)	15.1 (-7.5%)	14.5 (-4.4%)
民間非住宅建設投資	14.2 (4.0%)	11.0 (-10.0%)	14.6 (3.9%)	15.3 (5.0%)	16.3 (6.8%)	17.1 (4.7%)	17.5 (2.5%)	16.8 (-4.1%)	16.4 (-2.2%)
民間建築物RR投資	—	—	6.2 (—)	6.0 (-2.9%)	6.3 (4.5%)	6.5 (3.6%)	6.7 (2.1%)	6.1 (-9.0%)	6.1 (0.7%)
実質建設投資	54.7 (-3.5%)	42.5 (-2.8%)	53.7 (19.0%)	55.5 (3.5%)	56.7 (2.2%)	56.8 (0.1%)	57.3 (0.9%)	56.5 (-1.5%)	51.4 (-9.0%)

資料出所：一般財団 建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し(2020年10月)」

全国各地でこの数年間に発生した「激甚災害」

地震による土砂崩れ、局部的豪雨による洪水・土砂崩れ等の被害が各地で発生



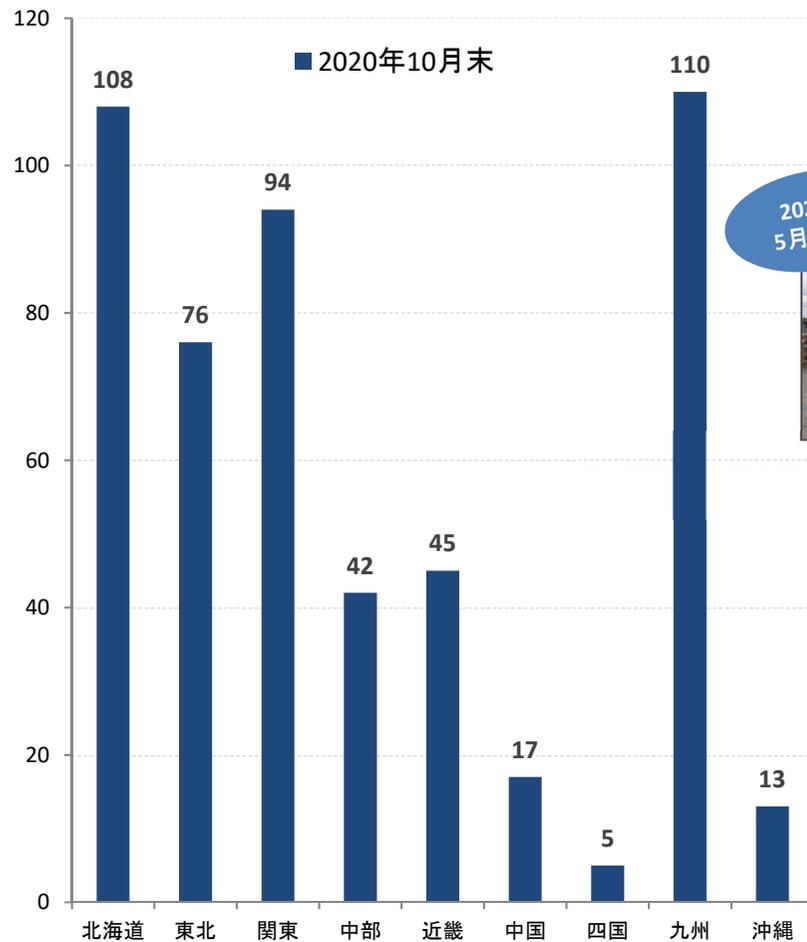
資料出所:内閣府ホームページ 写真:一般財団法人消防防災科学センター (注)上表は主な災害名を記載しているため、激甚災害指定されている災害であっても、一部含まれていない災害名もございます。

国内営業基盤の拡充

国内営業拠点数の推移

カナモト単体の国内営業拠点数は、205拠点

アライアンスグループ全体では、510拠点と着実に営業基盤を拡充



国内営業基盤の拡充

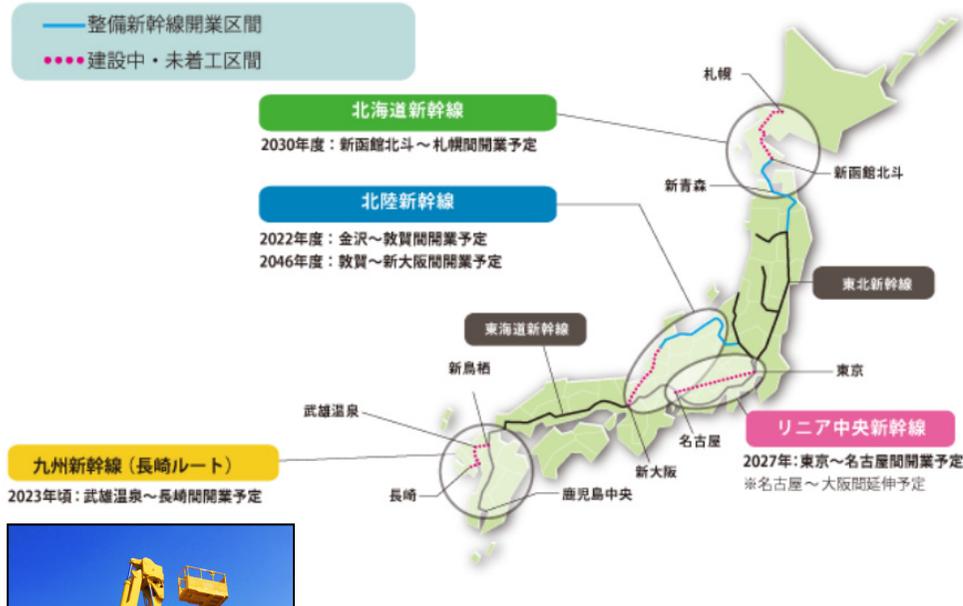
M&Aの軌跡 独自の店舗拡充に加えてM&Aを継続的に実施することで成長

■ 連結子会社 ■ 非連結子会社 ■ 関連会社



国内営業基盤の拡充

トンネル工事への体制強化／交通インフラプロジェクト概要



		供用延長 (全体)	更新計画			備考
			大規模更新	大規模修繕	更新計画合計	
全国路線網	延長	約20,000km (のべ延長)	237km	1,872km	2,109km (全体の約10%)	事業期間はH27～H41(15年間) 料金徴収期間を10年延長(～H72.6.24)
	費用	—	17,468億円	12,597億円	30,064億円	
本四高速	延長	約150km (のべ延長)	—	30km	30km (全体の約20%)	事業期間はH26～H40(15年間) 料金徴収期間を15年延長(～H77.9.30)
	費用	—	—	247億円	247億円	
首都高速	延長	約300km (道路延長)	8km	55km	63km (全体の約20%)	事業期間はH27～H41(15年間) 料金徴収期間を12年延長(～H74.9.18)
	費用	—	3,775億円	2,487億円	6,252億円	
阪神高速	延長	約250km (道路延長)	5km	57km	62km (全体の約25%)	
	費用	—	1,509億円	2,176億円	3,685億円	

資料出所: 阪神高速道路株式会社「大規模修繕・更新の事業化について(平成27年3月30日)」

国内営業基盤の拡充

i-Constructionへの取り組み



Ⅱ 国内営業基盤の拡充

Ⅱ 海外展開

Ⅱ 内部オペレーションの最適化

海外展開

「海外展開」－ 海外戦略2.0 (Next Generation) へのバージョンアップ

- ・グローバルポートフォリオの最適化
～経営資源の“選択と分散”
- ・カナモト版グローバルプラットフォームの確立
～海外拠点における仕組み作り
- ・ノンオーガニック戦略～海外でのM&Aの取り組み
- ・海外売上比率10%への布石



海外展開

kah kanamoto australia
holdings pty ltd

MADICA

PORTER
PLANT
Building Relationships That Matter

PORTER
UTILITIES



|| 国内営業基盤の拡充

|| 海外展開

|| 内部オペレーションの最適化

内部オペレーションの最適化

「内部オペレーションの最適化」ー レンタルビジネスの収益性向上

- ・営業戦略(マーケティング、営業)とITの融合
- ・商品企画、研究開発への資源投資 工事現場に必要な技術やシステム開発
～カナロボ ナクシデント AXキューイン ICT建機～
- ・業務効率向上
- ・グループ流通を促進する環境整備
～原価コントロール、長期的な安定稼働～
- ・人財の確保と育成への注力

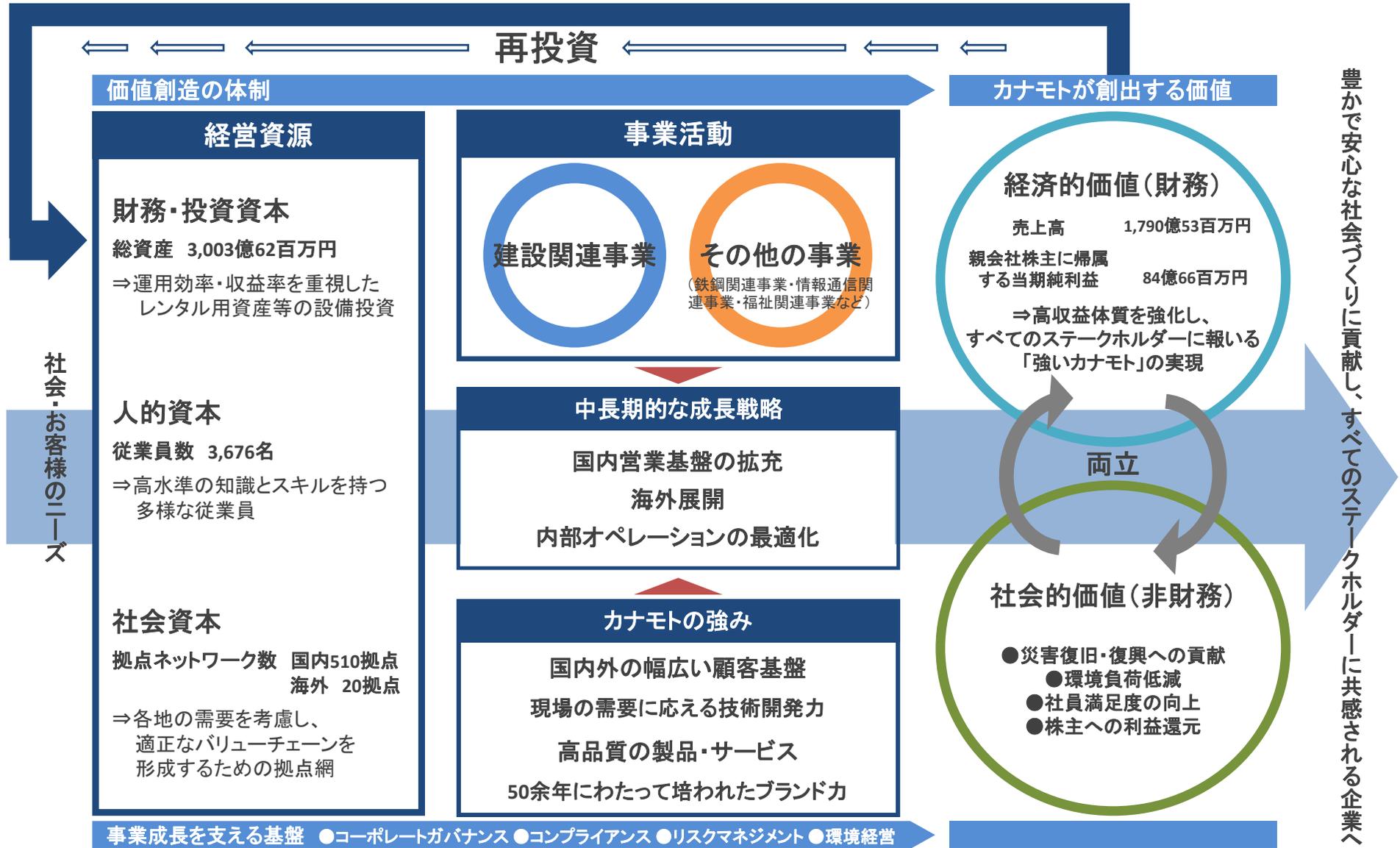


関連会社新レンタル業務システム 導入計画



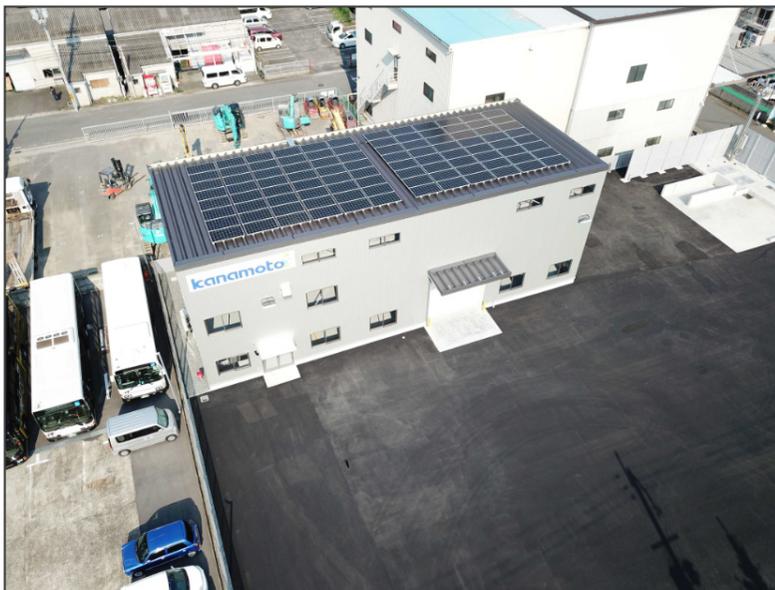
カナモトの価値創造プロセス

カナモトグループは、社会・お客様のニーズを起点に経営資源を統合的に活用しながら、建設関連事業をコアとしたグローバルな事業展開、強固なコーポレート・ガバナンスおよび最適化された体制・仕組みを通じて、社会課題の解決につながる価値を創出していきます。



カナモトグループのESGにおける重点テーマ

価値創造を支える基盤	価値創造	SDGs達成に貢献する ビジネス	<p>製品・サービスを通じて、SDGsの達成に貢献する新しい価値を創造し、持続的な社会の発展に貢献します。</p>		
	E	環境	<p>限られた地球資源のなかで持続可能な社会を実現するために、環境法規の遵守、適切な環境マネジメントの推進はもとより、あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境への負荷を低減するとともに生物多様性を保全します。</p>		
	S	社会	<p>ディスクロージャーとIR活動の充実 情報セキュリティの強化 安全衛生体制の強化 人材育成の環境整備</p>	<p>公平性・透明性が高く、速やかな情報開示と開示媒体の拡充を実践するとともに、国内外の株主・投資家に向けたIR活動の充実を図ります。</p> <p>個人情報をはじめ、多くの情報資産を取り扱う企業の責任として、情報資産の管理と保護のため、万全なセキュリティを確保します。</p> <p>すべての役職員が安全で心身ともに健康で生き活きと仕事に取り組むことができる職場環境の維持・向上を目指します。</p> <p>さまざまな視点・考え方をを持った人材がそれぞれの個性や能力を十分に発揮し、その多様性によってイノベーションが生まれる環境を目指します。</p>	
	G	ガバナンス	コーポレート・ガバナンス コンプライアンス 内部統制システム リスクマネジメント	<p>企業価値を向上していくために、コンプライアンスの強化、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの推進が重要な経営課題であると認識し、これを推進します。</p>	



電気自動車



4次排ガス規制対応や
超低騒音型の建機

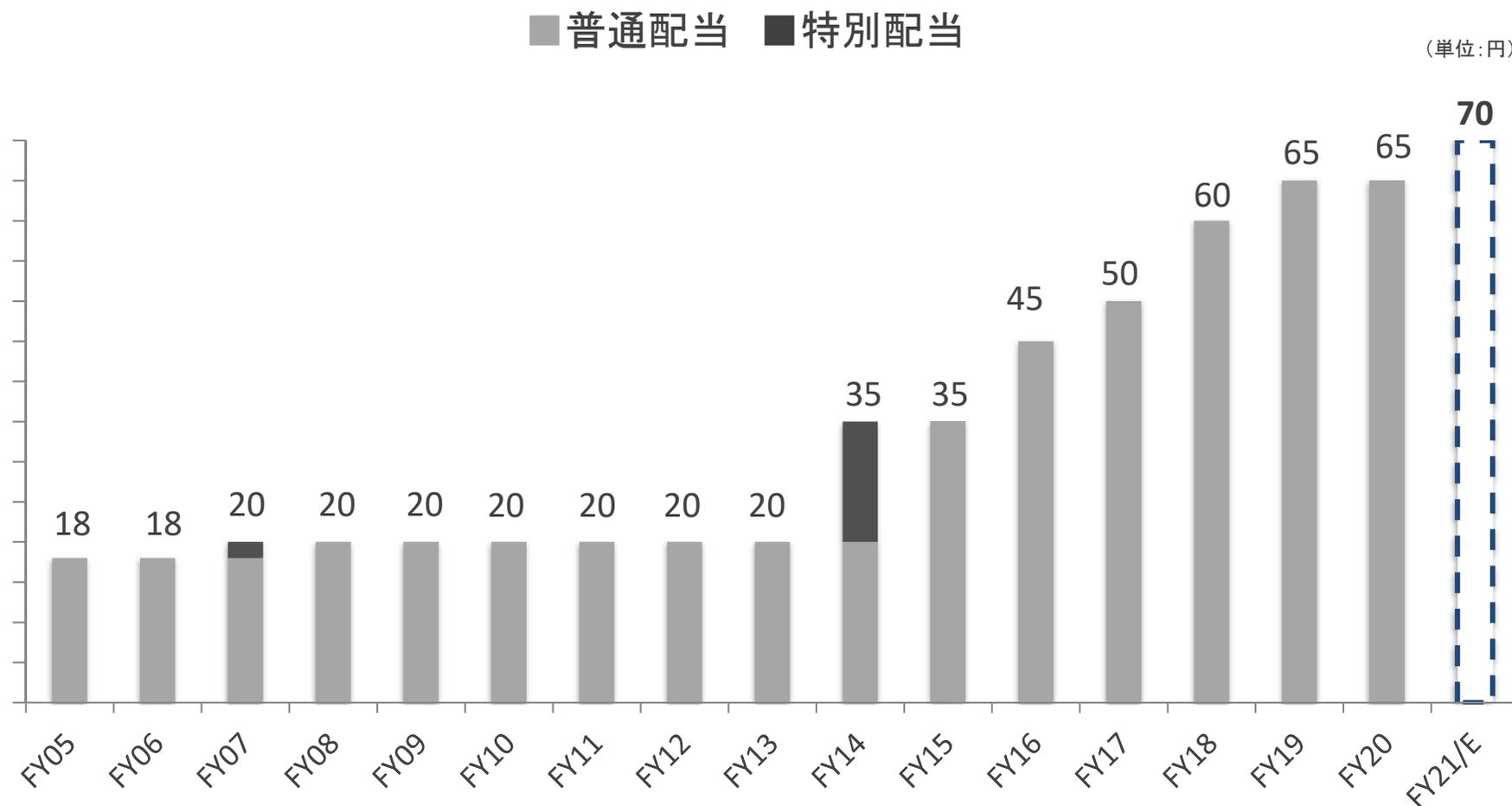


ハイブリッドトラック

配当政策

2020年10月期は年間配当65円(中間配当25円)

2021年10月期につきましては年間配当70円(中間配当25円)を予定





【免責事項】

本説明会及び説明資料に含まれる歴史的事実ではないものは将来の見通しです。
将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり多分に不確定な要素を含んでおります。
従いましてこれらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
実際の業績等はさまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

株式会社カナモト 広報室

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1-19
TEL.011-209-1631(土日祝除く 8:30~17:00)

ホームページ <https://www.kanamoto.co.jp>
IRサイト <https://www.kanamoto.ne.jp>

参考. 15年経営指標(連結)

(単位: 百万円)

	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021/E
売上高	68,023	68,626	69,411	63,863	70,173	71,086	86,106	110,831	125,555	133,292	144,870	158,428	168,188	180,694	179,053	190,300
営業利益	4,068	4,236	2,227	137	2,648	2,905	6,430	11,392	16,454	16,270	15,134	16,665	17,599	17,842	14,250	15,000
経常利益	3,788	4,416	2,028	-222	2,083	2,239	5,932	11,073	16,078	16,164	14,405	17,193	17,925	18,277	14,268	15,200
親会社株主に帰属する当期純利益	1,742	3,035	644	-1,158	1,041	1,165	3,575	5,809	9,299	9,557	8,098	10,744	11,857	11,430	8,466	9,000
純資産	38,051	39,973	38,202	36,541	37,025	37,592	41,399	56,192	65,513	71,998	81,434	91,788	102,031	121,779	126,188	-
総資産	86,815	85,155	91,741	96,435	108,509	115,120	137,343	169,250	188,082	202,578	220,540	227,155	241,374	268,182	300,362	-

